

# 道徳科学習指導案

2 学年 2 組（男子 17 名、女子 18 名）

## 1. 主題名

公德心に支えられた社会（内容項目：C-10 遵法精神・公德心）

## 2. ねらい

法やきまりは自分や他者の生活や権利を守るためにあり、それを守ることの大切さを自覚させるとともに、周囲の人へ配慮して生活しようとする態度を育てる。

## 3. 教材名

「キャッチボール」（出典：学研「新・中学生の道徳 明日への扉 2」）

## 4. 本時の学習

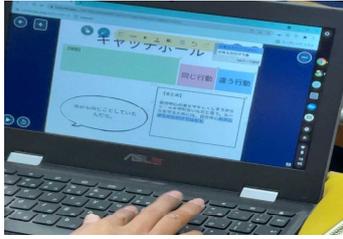
### (1) 準備

生徒：一人一台端末、道徳ファイル

教師：PC、デジタルテレビ

### (2) 展開

過程 時間	主な学習活動	指導上の留意点及び支援
導入 5分	<p>1. 道徳的価値について、課題をもつ。</p> <p>&lt;課題&gt; ルールは守るものと分かっているのに、なぜ守れないのだろう。守るために必要な考えや行動とは、どんなことだろう。</p> <p>○課題に対する自分の考えを書く。（授業支援ソフト）</p>	<p>○アンケート結果の中から多く出された言葉をキーワードとして提示し、自己の生活を振り返らせることで自分事として問題意識をもたせる。</p> <p>○課題に対する考えを書かせ、授業終了時の自分の考えと比べられるようにすることで、道徳的価値を自分の生き方に生かせるようにする。</p>
展開 40分	<p>2. 資料を読んで話し合う。</p> <p>○前半部分の範読を聞く。</p> <p>&lt;発問&gt; 悪いと思っても、なぜ明夫は「わかっていますよ」と、おばさんに怒鳴り返したのだろう。</p> <p>○道徳的価値について自分なりの考えをもつ。</p> <p>○自分だったらどのような行動をするかロイロノートでカードを提出して、議論をする。</p> <p>○後半部分の範読を聞く。</p> <p>&lt;主発問&gt; 明夫は、「はっとして」どんなことをつぶやいたのだろう。</p> <p>○個別（授業支援ソフト）で提出したつぶやきに問い返しを行いながら、多面的・多角的に考えられるように全体で共有する。</p>	<p>○自分の生活を振り返らせながら、主人公の自己中心的な行動に焦点を当て考えさせることで、ルールやきまりを守ることについて考えを深められるようにする。</p> <p>○自己中心的な行動をとった背景を再度確認しながら主人公が葛藤している様子を感じさせる。また、自分の言動を必死で正当化しようとする明夫に共感させたい。</p> <p>●補助発問：ムッとしたとあるが、主人公は何に苛立っていたのだろう</p> <p>○授業支援ソフトのカード機能を活用して、自分が主人公だったらどのような行動をするか判断させ、全体で共有することで、他者の意見から多面的・多角的に考え、根拠となる道徳的価値について議論を深めることができるようにする。主人公と同じ行動をする人・・・ピンクのカード 主人公と違う行動をする人・・・水色のカード</p> <p>○明夫になったつもりで、どのようにつぶやくのかをロイロノートで提出させる。全体で共有をし多様な意見に触れることができるようにする。</p> <p>予想される生徒の反応 &lt;運転手と自分を重ねて&gt;</p>



- ・同じだ
  - ・自分のことばかりだった
  - <おばさんの心情に気付いて>
  - ・申し訳ない
  - ・はずかしい
  - ・こういうことだったんだ
- より多面的・多角的に考えられるように、主人公の気持ちを問い返しながらか議論することで、自己中心的な言動が、周囲に対してどのように影響するのか気付かせたい。

問い返し  
○運転手と自分を重ねてのつぶやき

↓  
多面的な見方

○おばさんの心情に気付いてのつぶやき

↓  
多角的な見方



- ⇒ 何が同じだったのかな？
- ・怒鳴り返して、謝っていないこと
  - ・周りの人に迷惑をかけたこと
  - ・悪いと思いながらやっていたこと
- 運転手の行動と自分の行動が重なり「自己中心的な行動」と気付かせる。
- ⇒ なんで申し訳ないと思ったの？
- ・周りのことを考えて注意してくれたのに、怒鳴り返してしまった。
  - ・小さい子に怪我をさせる立場になるかもしれなかった。
  - ・自分のために注意してくれたのに。
- おばさんば、「周りのことを考えて注意をした」ことに気付かせる。

○問い返しによって深めた内容をもとに、明夫の「痛みが増している」という状況についてイメージさせる。

<探求のまとめ>

ルールは守るものと分かっているのに、なぜ守れないのだろう。  
守るために必要な考えや行動とは、どんなことだろう。

個別（授業支援ソフト）  
→小集団（隣同士）  
→全体

- 課題を振り返ることで、これからの生活でよりよい生き方について近づけるようにする。
- 多様な意見に触れることができるように、授業支援ソフトにまとめたことを提出させ、全体共有する。小集団で、なるほどなどと思う考えを協議し全体に発表することで、さらに思考を深められるようにする。

終末  
5分

3. これからの自分について考える。

○道徳ファイルに本時の授業で感じたこと、考えたことを振り返りとして記入させる。

<振り返り> 今日の授業で、新しく発見したことや気付いたこと、今後の生活に生かしていきたいことを書きましょう。

- あらわれてほしい振り返りの姿 -----
- ・ルールや規則を守ることで、みんなも自分も気持ちよく生活することができるから、自分勝手な行動はしないようにする。
  - ・ルールを破ってしまい、それによって他の人に迷惑や嫌な思いをさせているから、人のことを思った行動がとれるようにしたい。
  - ・ルールや規則が自分たちを守り、生活を平和にするので、自分の行動とルールについて見直していきたいと思った。

【評価の視点】

- ・「明夫のつぶやき」を手がかりにして心情を考え、問い返しによって多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- ・振り返りの場面で、ルールやきまりがある理由について自分自身との関わりの中で考えを深めているか。